

# 宮城県 教育旅行

新プログラム差込版

2024年度版



学校や児童・生徒が学びたいテーマに合ったプログラムを選び、学習や実践ができるSDGs探究学習特化型プログラムに新たな施設・プログラムが生まれました。



## SDGs探究学習特化型プログラム

●お問い合わせ・お申込みは  
みやぎ教育旅行等コーディネート支援センター(みやぎ観光復興支援センター)  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1(公益社団法人 宮城県観光連盟内)  
TEL 022-265-8722 FAX 022-211-2829 E-MAIL m-kyouiku@miyagi-kankou.or.jp

### INDEX

- 66 南三陸研修センター
- 67 宮城県志津川自然の家
- 68 国立花山青少年自然の家
- 69 阿部長商店×板倉農産
- 70 一般社団法人 ONE TOHOKU HUB
- 71 宮城第一信用金庫
- 72 鐘崎総本店 笹かま館
- 73 仙台長町未来共創センター
- 74 岩沼みんなの家 by infocom
- 75 宮城県蔵王自然の家
- 76 うらにわあとリエ

#### 南三陸研修センター

### 66 ゲームで体験!地域経済やSDGsを 新感覚ボードゲームで学ぶ

受入可能人数 最大36名(最少催行人数:10名)

所要時間 3時間30分

「みんなのまちづくりゲーム in cities」は、国立大学法人横浜国立大学と地域に根付き活動する南三陸研修センターによる共同開発商品です。自分たちが住みたいと思える、まち・地域を実現するために、どのような政策・アクションが効果的なのかをシミュレート。ゲームをプレイするだけで、地域経済、地域とSDGsの関わり、人口と環境など、まちづくりの要素が自然と体感できます。また、ゲームを進めるにはチームで協議が不可欠。メンバーの意外な一面も見ることから、チームビルディングにもおすすめです。

※場所は「南三陸まなびの里いりやど」の他、ご希望の場所で実施可能です。(プロジェクト、スクリーン、ホワイトボード必要)

- 受入可能期間/ 通年、休業日:8/13~16、12/29~1/3
- 料金/ 1,650円(税込み/1名) ※いりやど以外で実施する場合、別途使用料
- 該当市町村/ 南三陸町



#### 宮城県志津川自然の家

### 67 洋上めぐり

受入可能人数 48人(24人×2艇)程度

所要時間 90分~120分程度

ラムサール条約に登録された志津川湾を船で巡りながら、ホヤやカキの養殖の様子を見学したり、渡り鳥や南三陸町の海と山のつながりについての話を聞いたりします。実際に目で見て、触れて、匂いを嗅ぎ、風を感じることで、生物多様性や環境問題について考えを深めることができるプログラムです。



- 受入可能期間/ 5月~9月、休業日:月曜日・年末年始
- 料金/ 無料 ■該当市町村/ 南三陸町

#### 国立花山青少年自然の家

### 68 野外炊事(カレー作り)をとおして 環境への配慮を考える

受入可能人数 4~320人程度

所要時間 約3~4時間(食事、片付けを含む)

野外でかまどを使ってカレー作りを行うことで、グループでの協力や工夫することの大切さ、節水やゴミ削減など環境への配慮について学ぶことができるプログラムです。調理前に、「排水を少なくしよう」「ゴミを少なくしよう」「資源を大切にしよう」「その他にできること」の4つのテーマに沿って、自分たちができることを話し合い、実際に工夫して作って食べてみることで、その後の振り返りとおして、より主体的に環境に配慮した食生活のあり方について学ぶことができます。



- 受入可能期間/ 通年(ただし、冬季12月~3月までは野外炊事場閉鎖のため受け入れ人数に制限有)、休業日:12月28日~1月4日
- 料金/ カレー材料代620円(税込み/1人) ※料金は令和6年4月1日のものです。
- 該当市町村/ 栗原市

## 69 「水産業」×「農業」で持続可能な食の循環を体験 (2023年食材王国みやき推進優良活動ブランド化部門特別賞受賞)

受入可能人数 100名以内  
所要時間 3時間程度

持続可能な「食」の循環の取り組みとして、当社の水産加工食品工場で発生する魚の不可食部分を廃棄せずに魚粉に加工し、契約農家である登米市の板倉農産で肥料として利用するお米作りに取り組んでいます。体験プログラムとしては、田植え体験、稲刈り体験ができます。



- 受入可能期間 / 5月中旬～5月下旬、9月下旬～10月上旬
- 料金 / 料金2,000円(税込み) ※要相談
- 該当市町村 / 登米市

## 73 地域を守る防災型リバーシブルビルで 災害への備えを学ぶ

受入可能人数 15～60人/回 ※複数回での受け入れ可  
所要時間 60～90分

「仙台長町未来共創センター」は、「平常時と非常時で機能が変化するリバーシブル・ビル®」として開発された施設です。平常時はオフィスビルでありながら、非常時は帰宅困難者の一時受け入れを行う防災施設となります。施設内に保管されている備蓄食糧の試食、避難所体験や、停電時にも電気を消さない設備の見学を通して防災について学ぶことができます。



- 受入可能期間 / 通年、休業日:土・日・祝・年末年始
- 料金 / 応相談 ■ 該当市町村 / 仙台市

## 70 ワクワクできるまちってどんなところ? ～自分たちの街のまちづくりについて考えてみよう～

受入可能人数 最大約200名(会場次第、要相談)  
所要時間 約90～120分(調整可能)

ONE TOHOKU HUBの想いや取り組みについての話を聞き、街を元気にするマインドやヒントについて学びながら、自分たちの街に置き換えて「じぶんごと」としてどのような「まちづくり」に関わることができるかをグループワーク形式で学ぶことができるプログラムになっています。事前学習にて自分のまちづくりの取り組みを調べ、事後学習にてグループごとにプレゼンテーションを組み合わせることでより学習効果が高まります。※プログラム内容は中学生、高校生、大学生などニーズに合わせて形でカスタマイズが可能です。



- 受入可能期間 / 通年(スケジュールは要相談)、休業日:土・日・祝・お盆・年末年始は受付は休業(実施については要相談) ■ 料金 / クラス(40名まで)11万円(税込み)～目安(要相談)
- ※会場は来訪側での予約手配・費用ご負担をお願いしております。 ■ 該当市町村 / 仙台市

## 74 岩沼みんなの家のSDGs研修 ～みんなの震災伝承・防災学習～東日本大震災の教訓を未来へ

受入可能人数 40名  
所要時間 150～300分(応相談)

東日本大震災からの復興のトップランナーと知られる岩沼市で、地域の「みんな」が集い、絆をつなぎ、交流できるよう建てられた、コミュニティ施設「岩沼みんなの家」にて、災害の対応力を高め、住み続けられるまちを作るにはどうしたらよいかを考えます。震災の教訓や、みんなの家の取り組みなどから、対話の重要性についても考えます。被災地で最も早く集団移転が行われた「玉浦西地区」や、復興のシンボル「千年希望の丘」などを巡ることもできます。



岩沼みんなの家は、伊東雄雄建築設計事務所の設計による建物です。

- 受入可能期間 / 通年平日10:00～17:00、休業日:火・土(直売開催日)・日・祝
- 料金 / 1名3,000円前後(税込み・応相談)、昼食・おやつ・お土産代別途
- 該当市町村 / 岩沼市

## 71 「信用金庫のSDGs」について学ぶ

受入可能人数 10名程度  
所要時間 90分程度

宮城第一信用金庫ではSDGsの活動の一環として学生の皆さんに向けて金融リテラシー教育を実施しています。お金の正しい使い方について学び、「銀行と信用金庫の違い」や「信用金庫の活動がどうSDGsに結び付いているか」について知っていただきます。お金の正しい数え方(札勘)などの体験プログラムも用意しています。



- 受入可能期間 / 通年12:00～17:00、休業日:土・日・祝・年末年始(12/31～1/3) ■ 料金 / 無料 ■ 該当市町村 / 仙台市

## 75 自然・生命・食・環境 ～蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、SDGsを学ぶ～

受入可能人数 最大200人程度(当日の受入状況及びプログラムにより要相談)  
所要時間 90～120分(当日の受入状況及びプログラムにより要相談)

蔵王連峰の山麓の標高486mに立地。この蔵王の雄大な自然の中、春から秋にかけては登山やハイキング、沢登り、冬はスキーやスノーシュートレッキング、歩くスキーなど、季節に応じた野外活動を行いながら、人と自然との関わりや環境問題について考えるきっかけをつかみます。また、「防災クッキング」や「ニジマスつかみ」も本所の人気プログラムで、食や命の大切さについて学ぶことができます。



- 受入可能期間 / 通年、休業日:月曜日・年末年始・年度末・年度始
- 料金 / 要相談(体験メニューにより異なる) ■ 該当市町村 / 蔵王町

## 72 宮城の「かまぼこ文化」& 「低利用魚」についての体験・学習

受入可能人数 36名  
所要時間 1時間30分程度

昔の人の「もったいない」から生まれた「笹かまぼこ」。その歴史や作り方について講話で学び、実際に笹かまぼこの手作り体験に挑戦します。また、せっかく獲られても海に廃棄されてしまいがちな「低利用魚」について、その特徴や課題、活用することで生まれる地域へのメリットなどについてもお話しします。体験では、実際にすり身を手でこねて、笹かまぼこを焼き上げ、焼き立てを味わえます。低利用魚の活用については、専用の冊子をお配りします。



- 受入可能期間 / 1月～6月、9月～11月の平日、休業日:元旦
- 料金 / 2,000円(税込み/1人) ※内容により金額は変動します。
- 該当市町村 / 仙台市

## 76 「一目千本桜染め」白石川沿いの一目千本桜の剪定材、 倒木などを活用した染め物体験ワークショップ

受入可能人数 1～10名  
所要時間 3時間程度

桜の枝の裁断、染料の煮出し作業、染めの体験。うらにわあとりえでは、保全のために毎年、剪定で処分される枝、または倒木などで廃棄されている桜の材料から、新しい工芸作品を生み出しています。春には数十万人が来訪する一目千本桜ですが、花だけではなくその有効な活用として、観光資源と産業の両立を目指す試みです。このワークショップでは実際の素材に触れ、作品を完成することの喜びも体験できます。



- 受入可能期間 / 通年、休業日:年末年始、その他は不定休 ■ 料金 / 手ぬぐい2,500円(税込み)・プチストール3,500円(税込み)・大判ストール5,000円(税込み) ※料金には素材の全てを含みます。(シルクまたは麻素材のストール、手ぬぐいなど) ■ 該当市町村 / 大河原町